

お得で便利！

JABANKの活用術！

JABANKでは、組合員や利用者の皆さまの多様なライフプランやニーズに合わせて、各種商品ならびにサービスをご用意しております。今回は、日常生活の中で便利に使えるサービスからライフイベントや将来に備えるための商品まで、さまざまな活用方法を紹介します。新年度・新生活を目前に控えた今こそ、ぜひJABANKの活用方法をご確認ください。

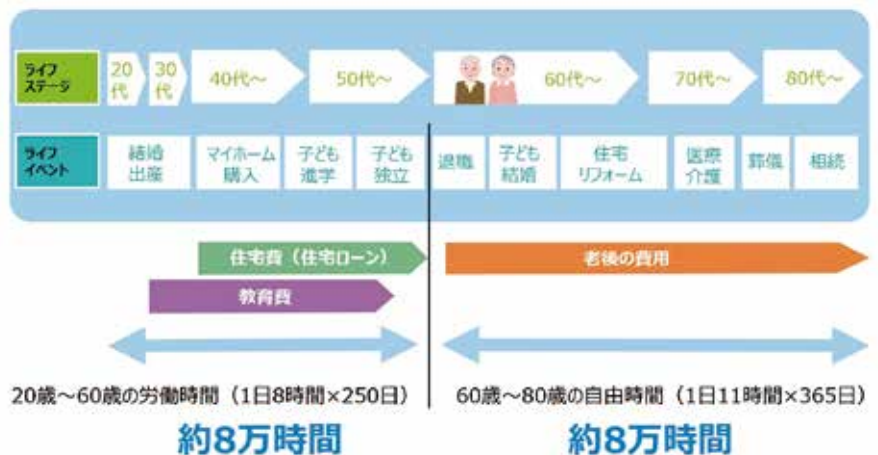
資産形成・貯蓄の重要性

早い時期から将来あるいは老後に向けて資産を確保・形成していくことが大事です。住宅の購入資金と教育資金、老後の費用は「人生の三大支出」ともいわれ、大きな金額が必要となります。

また、定年後の自由時間は現役時代の労働時間とほぼ同じといわれています。この長いセカンドライフをどのように過ごしたいか少しずつでも考えておくことも重要であり、過ごし方に伴い、必要な金額も変わってきます。

では、60歳で定年を迎えた場合、これからの生活資金はどれくらい必要なのか、モデルを設けて計算してみましょう。

ライフイベントと必要資金



出典：農林中央金庫

夫が厚生年金に40年加入の標準モデル

1カ月 【夫 会社員、妻 専業主婦の場合】



セカンドライフに必要な資金

65歳から20年間生活すると仮定した場合



(月額14.9万円×12カ月)

*1生命保険文化センター「令和4年度生活保障に関する調査」(夫婦2人で老後を送る場合)

*2厚生労働省の令和6年度モデル年金月額(夫婦2人、夫は平均的賃金43.9万円で厚生年金に40年加入、妻は国民年金に40年加入)

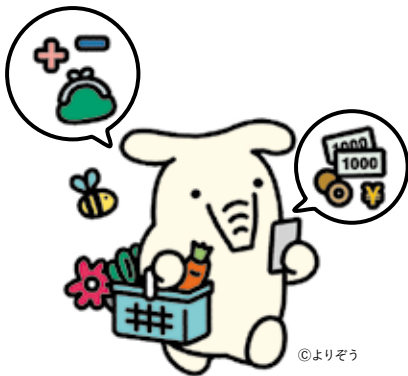
出典：農林中央金庫

平均寿命や高齢者の健康寿命が延びている今、セカンドライフは20～30年と長きにわたります。また「老後2000万円問題」が話題になりましたが、円安や物価高の影響により、実際に必要な金額はさらに多いともいわれています。全ての方が左図のケースに当てはまるとは限りませんが、公的年金だけでは心もとないのも事実です。このような現状のために、資産形成や貯蓄を行い、将来に向け資産を確保しておくことが大切です。

日常生活でできること

①収支の把握と見直し

普段の生活から意識すべきことは、収支を把握し、お金を使い過ぎていないかを見直すことです。家計簿に記録するなどして、何にいくら使ったかを把握することが大事ですが、そんな時に役立つのがオンラインでの取引履歴の確認や振り込みなど資金決済ができる「JAバンクアプリ プラス」と、取引履歴を自動管理してくれる家計簿アプリ「マネーフォワード for JAバンク」です。また、JAとのお取引内容によって手数料優遇を行う「JAバンク優遇プログラム」によって、支出を抑えることもできます。



©よりぞう

ダウンロードは
こちらから



JAバンク
アプリプラス



マネーフォワード
forJAバンク

②先取り貯金であらかじめ確保

給与や年金が振り込まれたら、決まった額をすぐに貯金に回しましょう。生活費に使った後の余った額を貯金するのは得策ではありません。JAバンクの「定期積金」なら、毎回の積立額や積立期間を設定し、無理なく計画的に貯金することができます。また、指定日に普通貯金から自動的に振り替える「自動振替」の設定で、便利に積み立てができます。

例) 目標額を100万円としたとき、積立期間と月々の掛金はどうか?

積立期間	毎月掛金
3年(36回)	28,000円
4年(48回)	21,000円
5年(60回)	17,000円

③ポイ活で支払いをおトクに

「ポイ活」とは、買い物などでポイントを貯めたり、貯まったポイントを使って買い物したりする活動です。クレジットカードや電子マネーなどのキャッシュレス決済が普及している今、ポイント付与のメリットを活用した「ポイ活」を生活に取り入れている人も少なくありません。JAバンクのクレジットカード「JAカード」なら、AコープやJA営農経済センターでのご利用で2%のポイント還元を受けられる他、当JA管内のJA-SSでの給油時のご利用で、1ℓにつき4円の割引が適用されます。また、JAカードのご利用で貯まったポイントは、ポイントプログラム「わいわいプレゼント」で、商品との交換や他社ポイントへの移行ができます。



©よりぞう

そのお金、使う予定が無いのなら…

ある程度お金が貯まってきたものの、使い道が思いつかない…そんな時は、定期貯金にして預けておくか、投資・運用することをお勧めします。当JAでは、税制優遇を受けながらセカンドライフに向けて運用ができる「iDeCo」と、満期保有することで普通貯金や定期貯金より高い利息を得られる「新窓販国債」「個人向け国債」を取り扱っています。資産運用で、ゆとりのある生活を目指しませんか。

税金の負担が軽くなる 年金積み立てiDeCoをご存知ですか？



iDeCoとは公的年金にプラスして給付が受けられる年金制度です^{※1}。掛金を積み立て、預金や投資信託など自分が選んだ商品で運用した後、原則60歳以降に年金または一時金で受け取ります。受取額は運用成果によって決まります。
※1 農業者年金の加入者等、一部の方はiDeCoに加入できません。

メリット ①



メリット ②



メリット ③



※2 運用中の年金資産には特別法人税(1.173%)が課税されますが、現在は課税凍結中です。

JAバンクの iDeCo (みずほプラン) 個人型確定拠出年金

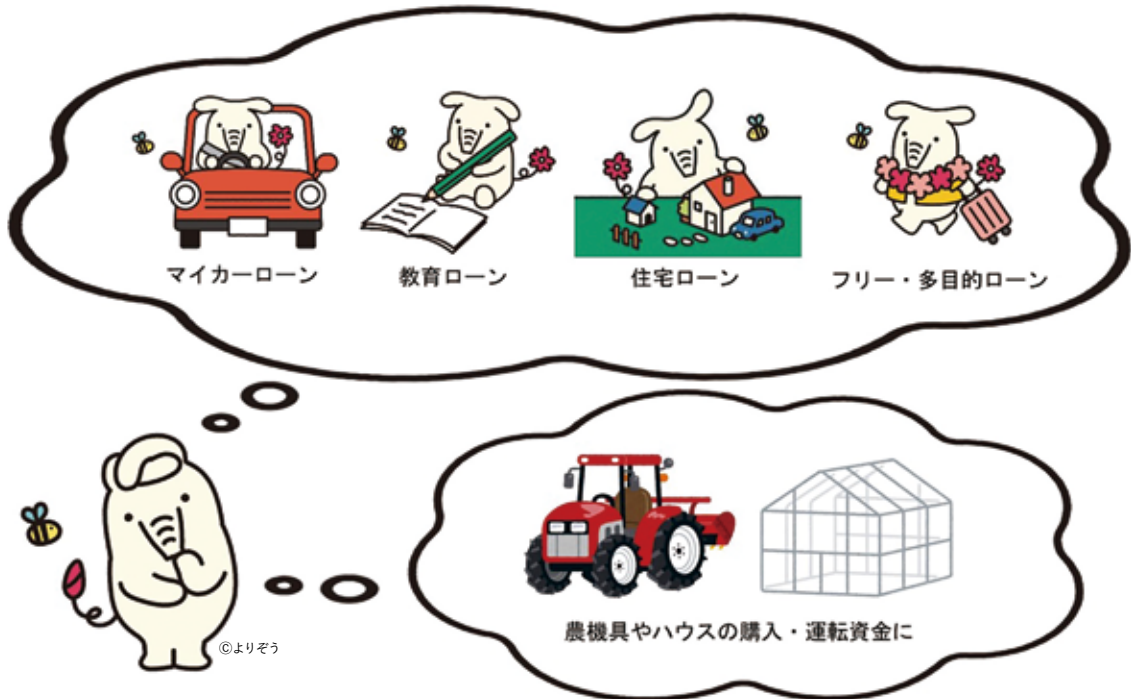
個人向け国債の利率 (例: 募集期間 令和7年1月9日~令和7年1月31日)

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 変動 10 </div> <p>第178回 変動金利型10年満期</p> <p>初回の利子の適用利率(年率)</p> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; color: red;">0.75%</div> <p>(税引前)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 固定 5 </div> <p>第166回 固定金利型5年満期</p> <p>利率(年率)</p> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; color: blue;">0.77%</div> <p>(税引前)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 固定 3 </div> <p>第176回 固定金利型3年満期</p> <p>利率(年率)</p> <div style="font-size: 2em; font-weight: bold; color: orange;">0.62%</div> <p>(税引前)</p>
--	---	---

出典: 財務省

ローンを賢く活用

JAバンクでは、自動車や住宅の購入資金や教育資金から農業資金まで、さまざまな場面に応じて貸し出しをしています。JAとのお取引内容によっては金利の引き下げがあり、インターネットからのお申し込みも受け付けています。



各種キャンペーン実施中!

JAバンク岩手ならびに当JAでは、貯金やローンなど、各種商品やサービスのキャンペーンを随時行っています。新生活や新入学などで何かとお金が必要になる時期です。ぜひ、JAバンクを利用しお得な特典をゲットしましょう!



詳しくはJA各支店までお問い合わせください。